



大郷高校

コミュニティ 通信

「笹竹の精神」が支える地域と福祉の未来！



MISATOで～WORKING・住まいる～事業が開催されました。

10月19日（月）に本校2年生を対象に進路学習活動の一環として美郷町商工会が主催して「MISATOで～WORKING・住まいる～事業」というパネルディスカッションが持たれました。地元企業2社と役場の観光交流課が参加してディスカッションや座談会を通して交流することで美郷町の新たな魅力発見と働くことの理解につなげる契機となりました。ちなみにパネルディスカッションのテーマは「人生のピンチをどう乗り切るか？」で行われました。各企業においてコロナウイルス感染拡大に伴いプラスとマイナス両面で様々な影響があったそうです。中でもマイナスの時ほど、様々な角度で問題に向き合い、できる限りの対処方法を考え、実践していることが具体的に紹介されました。六高生には「困っている時には周囲に助けってもらってもいい。そうして誰かのために頑張ることができる人になってほしい。」という激励のメッセージをいただきました。



（リモート形式で行われたパネルディスカッションとパネリストの齊藤大樹さん）

（参加者の感想）

- ・オンライン授業は初めてだったのでワクワクした。新型コロナウイルスの影響がどれだけのものかテレビや新聞のニュース以上に実感することができた。
- ・自分の考え次第で状況は変わってくるので何事も前向きな気持ちで頑張っていきたい。
- ・コロナ禍だからこそできること、という逆転の発想で生活していきたい。
- ・「ピンチに陥ったとしても、回復することはできる。」という言葉がとても印象に残った。
- ・地元の企業について知る機会になった。地元就職を希望する自分自身にとって、コロナウイルスと闘う各企業の持つ力強さを感じた。
- ・誰もが人生で一度はぶつかる最大のピンチをどう乗り越えるか、そして他人とのコミュニケーションの大切さについて学ぶことができた。
- ・物事におけるピンチかチャンスか判断するのは自分次第ということを学んだ。だから自分は前向きに頑張っていきたいと思う。
- ・自分自身、卒業後の進路について考えがまだまとまっていない。今日話を聞いて苦しいことに立ち向かう術を教えていただいたので、これから頑張りたい。

避難訓練と防災講話を実施しました。

10月27日（火）の午前中に避難訓練と防災講話を実施しました。今回の避難訓練には消防署が参加できなかったため、自校実施形式で行いました。いつもと違う点は、休み時間の地震発生を想定したことです。教職員が先導しなくても生徒達は各自で避難経路を確認し、避難先のグラウンドに向かうという内容でした。避難訓練に続いて陸上自衛隊秋田駐屯地より講師をお招きした防災講話を実施しました。テーマは、「」でした。各自然災害の説明とそれに向けた予測した行動、また東日本大震災での災害派遣活動報告など多岐にわたる有意義なお話をいただきました。

～災害時（非常時）における大切なこと～

- ①自助：自分の命は先ず自分で守る。
- ②共助：近所の防災組織を通して助けあう。
- ③公助：国（自衛隊）や役所などの機関に頼る。
避難所の利用も含む。
- ④火気を遮断する。
- ⑤二次災害防止のため災害現場を見に行かない。



～まさかの時に備えて、日頃からやるべきこと～

- ①食料や水を3日分確保する。
- ②避難ルートと避難後の集合場所を確認する。
- ③家庭内の安全な場所を確認する。
- ④気象をこまめにチェックする。
（様々な注意報や警報、台風の予想進路など）



<参加生徒の感想>

・災害はいつ起こるか分からないので、災害に対する知識を深め、いざという時に自分の命を守ることができるようになりたい。

・訓練とは言え、実際に災害が起きたらという想定をした上で臨むことが大切だと痛感した。もっと防災を意識して生活していきたい。

・講話を通して人のために動くことができる人間になりたいと思った。また、「自衛隊が頑張る時は日本がピンチの時だからない方がいい」という言葉が印象的だった。



六郷高校吹奏楽部 定期演奏会 笹竹コンサートが開催されました。

11月1日（日）に美郷町公民館を会場に本校吹奏楽部による笹竹コンサートが盛大に開催されました。当日は、保護者、生徒、教職員、一般客と多くの観客に見守られながら4人の部員達は堂々と演奏を披露していました。



<部長 加藤瑚葉さん より>

今年度はコロナウイルス感染拡大により演奏の機会が少ない中、笹竹コンサートを開催できて本当にうれしかったです。これで3年生は引退です。これまで本当にありがとうございました。

<3年生部員 佐藤莉奈さん より>

今回の笹竹コンサートでは自分の好きな曲を演奏することができて楽しかったです。今までで最も観客数が多く、その分緊張しました。終わった時は高校生活最後で寂しかったが、満足のいく演奏ができたので嬉しかったです。

<顧問から>今年念願の美郷町公民館で開催できました。コロナ禍にもかかわらず演奏会の開催にお力添えいただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます（三浦紀子）。

コロナ禍により演奏会等の開催が難しい昨今ですが、関係各位の御協力によりコンサートを開くことができ、生徒にとって良い思い出ができました（永田 聡）。